

ぐるっと秋田:本荘由利特集 市場に回せないリンゴでアップルパイ /秋田

◇人気も「規格外」 長田建設「HOLIDAY」が販売

長田建設(由利本荘市)の食品事業部「HOLIDAY(ホリデー)」が、規格外のリンゴを引き取ってアップルパイを作り販売。予約から1カ月以上待つほどの人気を呼んでいる。

副社長の長田陽一さんによると、地元の農家から「形や色で市場に回せず、金を出して廃棄するリンゴが多い」と聞いて発案。より本格的なものをと、米シアトルに住むおじから伝授された作り方で、1ホールに6~8個を惜しみなく使う。1ホール2800円、ハーフは1500円。製造は月50個が限界といい、長田さんは「レンジで熱々にして、アイスを絡めて食べるのがお勧め」と話す。

「建設会社がパイと言うと驚かれる」と笑う長田さん。コンセプトは、本業の建築でも心掛けている継続性を意味する「サステナブル」だという。リンゴの廃棄を減らし、リンゴを回収する車には植物性廃油から作ったバイオ燃料を使用している。

将来は東北、関東にそれぞれ拠点を設け、事業を拡大することも検討している。

問い合わせはホリデー(0184・22・3677)。【小林洋子】

毎日新聞 2011年2月27日 地方版